

戦後俳句を聞く (3) ～大石悦子 師と師系～

昭和から平成・令和へ。戦後俳句から、現代の俳句へ。

俳句の可能性をひろげてきたトップランナーたちに、その歩みを聞く。

第三弾は、昨年、第10回桂信子賞を受賞された大石悦子氏。

「鶴」で石田波郷、石塚友二に師事し、多年研鑽を重ねた大石氏の軌跡を辿る。

日時：2020年2月22日(土) 14時00分～(13時30分開場)

会場：柿衛文庫講座室

参加費：無料

参加申込：seinenbu@kangempai.jp までお申し込みください



大石悦子 (おおいし・えつこ)

昭和13年(1938)京都府舞鶴市生まれ。昭和29年、作句開始、「鶴」入会。以後、石田波郷、石塚友二、星野麥丘人に師事。55年、鶴俳句賞。59年第30回角川俳句賞受賞。61年『群萌』(富士見書房)で第10回俳人協会新人賞。平成24年『有情』(角川学芸出版)で俳人協会賞。31年には桂信子賞を受賞した。現在「鶴」「紫薇」同人、俳人協会顧問。ほかに句集『聞香』(富士見書房)、『耶々』(角川学芸出版)、『季語別大石悦子句集』(ふらんす堂)、評論集『師資相承 石田波郷と石塚友二』(KADOKAWA)などの著作がある。

聞き手／久留島元、野住朋可
(関西現代俳句協会青年部)

公益財団法人柿衛文庫 案内図
(兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20)



阪急伊丹駅より東へ徒歩9分・JR伊丹駅より西へ徒歩7分
阪急バス伊丹中央停留所下車北へ徒歩2分
伊丹市立宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用下さい。

